



すずしろ

～開拓・発展・完成～

11月 第7号

令和3年11月1日

開進第四中学校だより

校長 児島 泰彦

秋は、いろいろな呼ばれ方をします。読書の秋・実りの秋・スポーツの秋・食欲の秋など、それぞれ何か前向きな楽しみを含んだものです。日頃の楽しみの一つとして、どの秋かを意識して過ごすのも良いのではないのでしょうか。



<朝礼の話>

「10月は穏やかな気候が続き、過ごしやすい時期になりました」などと言うことが普通ですが、今年は10月中旬から一気に気温が下がって、秋の季節を感じる間もなく、あっという間に冬になってしまった感じです。体調管理が難しいですが、各自十分気を付けてください。

さて、11月は毎年「ふれあい月間」として、皆さんにアンケートを取り、その結果から必要な生徒には面接を行って聞き取りを行い、問題の解決を図っています。日頃先生方が気付いていないことや普段はなかなか言えないことなどもあると思いますので、ありのままの気持ちを伝えてほしいと思います。皆さんが毎日楽しく学校生活を送るためには、学校で起こりうる様々なことから苦痛に感じるような場面をなくしていくことが必要です。苦痛には肉体で感じる痛みがありますが、精神的に感じる痛みもあります。特に最近ではSNSを媒体にしたトラブルが多く見られます。

話は変わりますが、先月は甲子園を沸かしたプロ野球選手が2名引退を表明しました。一人は甲子園の決勝で田中将大投手と死闘を演じた日本ハムの斎藤佑樹投手。高校・大学と華々しい活躍のあとにプロになりましたが、プロの世界では思うような活躍ができませんでした。もう一人は甲子園の決勝でノーヒットノーランを達成した西武の松坂大輔選手です。松坂選手は高卒で入団した1年目から3年連続最多勝など8年間で108勝を積み上げ、その後メジャーリーグでも大活躍をしました。しかし、その後は度重なる怪我に苦しんで、日本球界に復帰してからも思うような活躍はできませんでした。晩年は年棒に見合う働きができないことで、ネット上で批判を超えた誹謗中傷のコメントが常態化して見られていたとのこと。その誹謗中傷の対象が奥さんにも向けられてしまいました。松坂選手は、「自分自身に向けられた批判なら結果を出していないから割り切れるが家族に向けて見るに堪えられないコメントが書き込まれるのは本当に辛かった。心が折れた。」と述べています。スター選手だから何を言われてもいいわけではありません。

あるコメントで、「松坂選手ほどの実績がある人でも、誹謗中傷を受けて心が折れる。それくらい誹謗中傷というのは恐ろしい。誹謗中傷はやめよう。そして、悪意がなくても投稿する前に『これは相手が傷つかないかな。』と一旦考えよう」と呼び掛けています。SNSは相手の顔を見ないで、自分の顔を見せないで文言を発することができる。だからそれが恐ろしい刃にもなってしまう。そのことを理解して利用してほしいと思います。

これからも、毎日の登校を楽しみにできる学校に益々なるように先生たちも頑張っていきますので、生徒の皆さんも自分たちでより良い学校を作っていきましょう。

定期テスト

中学校では、小学校と違い定期テストがあります。これは、テスト前に集中して学習に取り組む期間をつくったり、入試と同じように短期間でいくつもの教科のテストを行ったりするためです。この定期テストですが、各学年によって捉え方が大きく違ってきます。

1年生

2学期は、中学校生活はどのようなものか分かり、夏休み中の部活動で体も慣れて来ました。このように、授業、部活動、習い事など自分の中学校生活のパターンができあがります。そのため、第2回定期テストでは、自分の生活パターンの学習量ではどのくらいの学力が身に付くのかが見れます。第2回定期テストの結果に満足できなかった人は、自分の生活パターンを見直して、学習への取組を見つめ直す必要があります。

2年生

教科によっては、2年生までの学習内容は入試内容の半分以上を占めることもあります。また、2年生までの学習内容が完璧であれば、合格点に達する高校もあります。逆に、2年生の学習内容が身に付かず、3年生で復習しながら3年生の学習内容を身に付けるには多くの時間を学習に使わなければなりません。各定期テストに、その範囲を確実に身に付ける気持ちで取り組むことが大切です。

3年生

先日行われた「令和3年度 第2回進路説明会」では、都立高校、私立高校の入試日程が説明され、資料に掲載されていました。そこには、都立推薦・私立推薦等は1月になっています。これは、高校へ提出される中学校の成績は1月までのものになり、それに関わる定期テストは今回の第3回定期テストが最後になります。今回は、高校へ提出する成績を少しでも良くする大切な定期テストになります。

部活動大会結果等

●陸上競技部

第74回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会（10月16、17日）

- ・ 共通男子 3 0 0 0 m 走 第 4 位 3 年 男 子 9 分 12 秒 91
- ・ 1, 2 年 男 子 走 幅 跳 第 7 位 2 年 男 子 5 m 70 (+0.9)
- ・ 2 年 男 子 1 5 0 0 m 第 8 位 2 年 男 子 4 分 25 秒 25
- ・ 1 年 女 子 1 0 0 m 第 5 位 1 年 女 子 13 秒 31 (+0.9)
- ・ 1 年 女 子 1 0 0 m H 第 2 位 1 年 女 子 17 秒 07 (-2.1)
- ・ 1, 2 年 走 高 跳 第 2 位 2 年 男 子 1 m 6 0 c m

9月に行われた選考会を通過した上記6名が練馬区代表として支部対抗陸上に出場しました。選抜された6名が全員入賞することができ、練馬区の総合2位に貢献しました。

●新体操部

板橋区新体操ジュニア学年別競技大会（10月9日）

- ・ 2 年 女 子 ペア 徒手・ペア 1 位
- ・ 2 年 女 子 ボール 3 位
- ・ 2 年 女 子 クラブ 4 位
- ・ 2 年 女 子 フープ 5 位

●令和3年度 練馬区読書感想文コンクール

- ・ 優 秀 賞 2 年 女 子 ※都の審査会に推薦されました。
- ・ 佳 作 2 年 女 子 ・ 佳 作 2 年 女 子
- ・ 佳 作 1 年 男 子 ・ 佳 作 1 年 女 子
- ・ 佳 作 1 年 女 子